

新宮山彦ぐるーぶ 個人山行

## 持経宿・薪小屋入口扉(ドア)の取付作業など

◇実施日：平成27年9月28日(月) 快晴

◇参加者：川島 功

先般(9/12)、池郷林道ゲートの鍵忘れにより2時間ロスの為、薪小屋の入口扉が取付られず現地にて採寸し、廃材タルキを縦枠(178 cm)2本、横枠(70.6 cm)10本は胴縁材を切断し持ち帰った。自宅扉(ドア)枠を組立、取っ手及びドア開閉の丁番(89 mm)3個を取り付ける。

昨日は、天候が悪く、本日に延期した。心配した池郷林道の路面は悪くなっておらず、むしろ良いと感じた。

持経宿から奥の林道で工事をしている様で、作業中車が行き交う音がした。

持経宿に8時過ぎに着き、ドア扉枠を嵌め込むときっちり嵌め込めた。柱の丁番位置に印を入れ、丁番厚み分をノミで彫る。

丁番を柱に固定し開閉すると、南側(便所側)は、きつく開けづらいので、横枠の上3本を約2 mm短くして組み立てる。

又、ドア扉上の外壁波トタンは少し長く支えるので、波トタンを少し切る。

透明ポリカ波板は、笠釘で上部を留め、ポリカ波板(183 cm)は長いのでドア扉が開閉出来る様にトタン缺で切る。

北側(こみ焼却炉側)は、取っ手側の縦枠が支えるので約3 mm切る。又、焼却炉のコンクリート基礎が支えるので、ポリカ波板は短めに切る。

扉(ドア)2枚を取付け終わると、11時45分であり、日当たりの良い、小屋前のベンチで昼食。

食後、扉(ドア)の開閉止めは、上、下の木片押えとした。(写真参照)。

その後、雨に濡れている端材を屋根のある便槽側に移管する。改造ストープは、改造前に比べて大きな薪は、燃やすことが出来ない所以で宿内及び玄関側に在る大き目の薪を小割りする。又、玄関の飲料水タンクは、空で水場で水汲み補給した。今回の薪小屋の入口扉(ドア)取付により、持経宿改築作業は、完了したといえる。



便槽側の入口扉



焼却炉側の入口扉

### 行動タイム

鵜殿 6:20→7:25 池原スポーツ公園→8:10 持経宿 14:05→14:50  
池原スポーツ公園→16:00 鵜殿。 (記 川島)